

「川辺りの観・体感場を歩こう」宇治川の桜と峡谷

宇治川は、118本の川が流れ込む琵琶湖から唯一流れ出る瀬田川の下流にあたり、豊臣秀吉が太閤堤(槇島堤)を作る前は宇治橋までしかありませんでした。

この宇治川には、1911(明治44)年頃から観光船が運行され始め、2度のダム建設(大峯・天ヶ瀬)時は運行を中止していましたが、1976(昭和51)年まで約60年にわたって運行されていました。



◎開催日 **令和4年4月3日(日)【予備日4月10日(日)】**
前日19時時点の天気予報で、当日9-12時の降水確率が50%以上の時は延期とします。
緊急事態宣言等の発出時は中止とします。

◎集合 京阪宇治線 宇治駅 バスターミナル前
受付開始: 8:30 出発: 9:00

◎解散 お茶と宇治のまち歴史公園 予定 12:00

◎内容 宇治橋から宇治川の川筋を「川辺り歩き」をしながら、白虹橋まで往復して川識のお話をします。(裏面ルート図のとおり) 歩行距離: 約 5 km

◎参加対象 定員 20名程度(対象 小学校3年生以上【中学生以下は保護者同伴でお願いします】)

◎参加費 無料 (発熱・体調不良等の症状がある方は参加ご遠慮下さい。欠席の時、

◎服装・持ち物 帽子、歩きやすい靴、水分補給の水筒 **当日の担当 鎌田までTEL)**

◎お問合せ・申込み 参加申込みは3/30(水)まで、メールまたはホームページで受付しています。

淀川管内河川レンジャー事務局 中央流域センター(平日 9:00~17:00)

TEL:072-861-6801 FAX:072-841-5663 E-mail cyuuou-kasen@nifty.com

当日の担当 淀川管内河川レンジャー 鎌田 繁樹 TEL:090-7961-8251



◎支援・協力 国土交通省 近畿地方整備局 淀川河川事務所

淀川管内河川レンジャーHP ↑



河川レンジャーとは

河川レンジャーと行政・住民等との関係図



淀川管内河川レンジャーは、住民等と行政が一緒になって淀川を守り、育てるために誕生しました。

淀川管内河川レンジャーは、住民等と行政コーディネートしながら、淀川・宇治川・桂川・木津川をフィールドとして、防災、環境保全、歴史文化、川づくり、河川管理支援などの川に関する様々な活動を行います。

淀川管内河川レンジャーの活動を通じて淀川に関心を持ち愛してもらおうファンが増え、淀川と地域との良好な関係が作られることを目指しています。

ルート図(宇治川の桜と峡谷)



観・体感場

- ①宇治橋、②折居川排水樋門、③塔の川河口堰、④橋橋・橋島、⑤井川揚水機場、⑥宇治川先陣の碑、⑦朝霧橋、⑧中ノ橋・塔ノ島、⑨鶴小屋、⑩十三重の塔、⑪塔ノ川管渠出口、⑫喜撰橋、⑬宇治川峡谷、⑭白川公園、⑮天ヶ瀬吊橋、⑯白虹橋・天ヶ瀬ダム、⑰志津川発電所跡、⑱志津川工事軌道跡、⑲寒流橋、⑳放生院、㉑通園、㉒お茶と宇治のまち歴史公園